

麻布学園山岳部 OB 会 2012 年通常総会 議事録

会則第 16 条 1 項に則り通常総会を下記のとおり開催したのでその議事録を記す

日時：2012 年 5 月 19 日土曜日 16:30-18:00

場所：麻布学園 地下食堂

出席者：(順不同、敬称略(文中も))

役員：会長：鮫島員允、理事長：太田高嗣、理事：武藤光盛、藤田信一、藤森隆、南谷達郎、

監査役：矢部善兵衛

会員：小川法章 (S25)、宮崎専輔 (S35)、加藤和彦 (S35)、斉藤健一 (S35)、大熊忠之 (S35)、大熊義之 (S37)、溝口洋三 (S38)、山田新 (S40)、宮坂太郎 (S42)、藤森直 (H21)、新井洵太郎 (H22)、渡邊真之 (H24)

顧問：山本、江田

現役：頼部長 他 11 人

1. 司会選出

太田が司会を行う旨発言、承認された

2. 開会挨拶

会長の鮫島が開会を宣言した。

前回の総会において、会長と理事長の役割が明確化した旨、費用面も健全化しつつある旨、若手との交流もうまくいしつつある旨を述べた。

3. 顧問の先生の挨拶

山本先生：春休みに雲取に行った。ゴールデンウィークの遭難もあり、山の危険を認識した。

江田先生：今年も部員が増えている。顧問の人数が足りないのではと思うくらいであり、OB の支援をお願いしたい。

サポート委員長藤森理事より以下の発言あり

- ・ 昨年の総会と比べ、顧問の先生が相当若返っている。
- ・ 若手先生の参加は山岳部の課題だったが、増子先生がおやめになるにあたり実現していただいた。
- ・ OB 各位には、3 名の若い先生をあたたく見守ってもらいたい。

4. 現役部員の挨拶・紹介

現役部員 11 名が自己紹介の後、頼部長より以下の挨拶

- ・新入生が6名入り、現在、35名となった
- ・文化祭で校長賞を受賞した
- ・夏合宿は北アルプス南部で10泊を予定している
- ・OB会には今後ともご協力をお願いしたい。

5. 議事議案

(1) 第一号議案

11年度（平成23年度）活動報告について、理事長太田より説明した。

- ・現役部活動のサポートの充実
- ・若手会員（S42以降）中心に軸移動
- ・OB会一般会計、山荘会計の健全化
- ・11年度活動実施報告
- ・OB会員数

(2) 第二号議案

11年度一般会計について、会計担当南谷より説明した。

- ・会費収入が増加した
- ・収支が黒字化した

(3) 第三号議案

11年度山荘会計について、山荘会計担当藤田より説明した。

- ・使用料収入は若干減少した
- ・大きな出費はなく、黒字は増加

(4) 第四号議案

11年度監査報告について、監査役矢部より説明

- ・一般会計、山荘会計、ともに適切に処理・記載されている

(5) 第五号議案

新入会員についてサポート委員長藤森より説明

- ・卒業生6名、および特別会員として増子先生がOB会新入会員として加わった

(6) 第六号議案

12年度役員人事について理事長太田より説明

- ・現在の理事・監査役については、来期も引き続き就任する、岩城、森の両氏は所用により欠席しているが就任を承諾している
- ・新たに、新井（H22）、渡邊（H24）の2名が理事として加わる

上記6議案について採決し、すべて異議なく可決した。

6. 12年度委員会

12年度委員案について、理事長太田が説明

- ・山荘委員 武藤光盛(S42、委員長)、藤田信一(S49)、高坂元顕(S56)
- ・HP委員 岩城達之助(S55)、鈴木順二(S46)、斎藤昌毅(S51)、高野信久(S52)、高坂元顕(S56)、藤森 直(H21)
- ・サポート委員 藤森 隆(S52)、森 美文(S44)鈴木順二(S46)、高坂元顕(S56)、梅村 裕(H5)、佐藤暁彦(H16)、藤森 直(H21)、金丸俊太郎(H21)、新井洵太郎(H22)、前田洋輔(H22)、荒川頌平(H22)、丹羽 惇(H22)、黒川育朗(H22)、柴山翔二郎(H22)、渡邊真之(H24)、吉川正悟(H24)、沖田 峻(H24)、飯塚秀人(H24)、梅宮岳彦(H24)

7. 12年度活動方針案

12年度活動方針案について理事長太田が説明

- ・現役部活動のサポートの充実
- ・若手会員の活動参画を各年代に広げる
- ・山荘税金の山荘会計からの支出など一般・山荘会計の健全化

8. 長期未納会員への対応について

理事会の決定について理事長太田が説明

- ・過去10年間で一度も入金がない35名の今後の取り扱いについて、経費削減、公平性の観点からどのように扱うか理事会で議論した
- ・会費について例年80名前後、昨年は86名の入金があった
- ・このような任意団体の入金率は30%程度が普通だが、170名の50%もの入金があるのはありがたいことではないか。
- ・2009年、2011年は督促をして成果があがっている。
- ・協議の結果、最低限のつながりは保つため総会の案内のみ送るとしたこととした。

9. 質疑応答

Q. 若手への委譲はどのように進めるのか？(宮坂)

A. 数年前までは若手OBが少なかったが、ここ数年、大学生OBが増加している。この世代が中心となればうまくいくと考える。(藤森)

以上をもって議事の全部を終了したので、司会は閉会を宣した。

以上